

社

SHA

楽

RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の「社史コレクション」を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.21

2013/09

県立川崎図書館の社史コレクションはホームページから検索できますが、検索には、ややクセがあります。そこで、社史担当の高田が、社史の蔵書をどう検索しているか説明します。

まず、当館ホームページのトップページの「資料検索・予約」から、「神奈川県立図書館のOPAC」を表示します。最初の画面で検索してもよいのですが、社史に限った検索なら「詳細検索」がオススメです。下図のような画面です。

ポイントは「資料区分」の欄に「社史」と入れておくこと。これで、県立川崎図書館の社史コレクションに限定できます。



当館の社史を検索するコツ

社史の検索は「この会社の社史はないかな？」という用途が多いと思います。「タイトル」「著者」や「出版者」の欄に企業名を入れたくなるかもしれませんが、やめたほうが無難です。例えば『飛翔』みたいタイトル（書名）に会社名が入っているとは限りません。著者は、社名が略された編集委員会や、外部に委託していることもあるので、これも不確かです。出版者も自社で刊行しているとは限りません。

ではどうするかといえば、社史のデータのどこかには会社名が入っているのです、データのすべてを検索の対象とする「全項目」の入力欄を使いましょう。社名をキーワードにするときはなるべく短めに入れてください。正式社名が仮に「新日本図書館サービス株式会社」だったら、きっちりそのとおりに入れない方が無難です。

(裏面に続く)

(表面から続く)

ここは間違いないという部分、たとえば「日本図書館」や「図書館サービス」など、ブツ切りに短くして入れてください。通称的な社名と正式社名が違うこともあるし、勘違いの防止にもなります。ただし、「日本」とか「東京」だけで検索すると膨大なヒット数になるので、どのくらいまでブツ切りにするかは、検索結果を見ながら調整していくのがよいでしょう。

社名で検索する注意点としては、「京濱」と「京浜」、「鉄道」と「鐵道」など、旧字を使用している場合、基本的には新字を優先していただきますが、両方で検索したほうが漏れは少ないです。社名の変更や合併等があった企業は、データにも注記を入れるようにしています。が、網羅しきれてはいないので、会社のホームページの沿革情報などを参考に、旧社名・新社名など複数の企業名を、検索のキーワードにしてください。現社名で検索してヒットしないからといって、社史の所蔵が無いと断定はできません。

応用的な使い方として、「最近、刊行された社史は？」といった目的なら、「出版年」に「2013」「2012」など、刊行年を入れるとよいでしょう。社史は刊行から数年後に寄贈等で受け入れることも多いので、直近の刊行年の社史はやや少なめです。

最後に業種の分野別に社史を検索したい場合ですが、業種の分類番号(ラベルの上段の番号)がわかれば、「請求記号」の項目を選んで入れてください。その業種の社史を何か検索して、どんな分類が付けられているのかを確認してから検索してみてもよいでしょう。例えば、鉄道なら「S686」です。ただし、業種の変動や、分類表に収まりにくい業種、複数の業種にわたっている企業など、請求記号と業種が一致しないことも多いので、あくまで目安程度と考えてください。

(科学情報課 高田)
※これ以外にも、知っておいていただきたいことや、便利な検索法はたくさんありますが、またの機会にご紹介します。

応用的な検索も少く紹介しています。

● 午前中も社史室を開室します。 ●

震災・節電などの影響もあって、社史室の開室時間は13時から17時まででしたが、10月から、9時から17時までとなります。
午前中のご利用も、お待ちしております。

● お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>